

第270回「学術講演会」のご案内

秋雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今回は下記の日程にて、2題のテーマで「学術講演会」を開催いたします。

1 題目は、『ヒアルロン酸の新たな可能性 ～知らない話が聞けるヒアルロン酸～』というテーマで、キューピー株式会社 研究開発本部 與田昭一先生にご講演いただきます。

2 題目は、『皮膚の幹細胞制御と再生・老化』というテーマで、東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野 西村栄美教授にお話しいただきます。

皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。(学術部会A)

記

1. 日 時 : 2015年10月22日(木) 13:30～16:30 (13:00～ 受付開始)
2. 場 所 : 学士会館(神田) 2F-210号室 (地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照)
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03-3292-5936
3. 講演
【講演-1】 13:30～14:55

ヒアルロン酸の新たな可能性 ～知らない話が聞けるヒアルロン酸～

キューピー株式会社 研究開発本部 與田 昭一 氏

[要旨]

ヒアルロン酸は高い保湿効果と特徴的なテクスチャーを有し、化粧品の保湿原料として広く利用されています。また、修飾基を導入することで新たな機能を付与したり、架橋により安定性を向上させたりした素材も開発されています。

一方、生体内においてヒアルロン酸は全ての脊椎動物に存在し、皮膚、靱帯、大動脈、関節液などあらゆる臓器や結合組織に存在しています。特に皮膚に多く存在し、その量は体全体に含まれる量の約50%を占めています。加齢に伴う皮膚の弾力の低下、しわの増加といった現象には、皮膚におけるヒアルロン酸の減少が関わっていると考えられており、生体内での役割・機能性についても新たな知見が明らかとなってきています。

本講演では、自社の取得データ以外の最新の研究報告を織り交ぜながら、以下の内容をご紹介します。

- 1) ヒアルロン酸の一般論
- 2) ヒアルロン酸の保湿効果とテクスチャー
- 3) ヒアルロン酸の新たな可能性(1) ～修飾による機能付与～
- 4) ヒアルロン酸の新たな可能性(2) ～生体内シグナル伝達～

[講師略歴]

2003 年 九州大学大学院 生物資源環境科学府 生命機能科学 修士課程修了
同年 キューピー株式会社入社 研究所(現:研究開発本部)配属
現在 同社研究開発本部 商品開発研究所 ファインケミカル開発部 チームリーダー

【講演-2】 15:05～16:30

皮膚の幹細胞制御と再生・老化

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野 教授 西村 栄美 氏

[要旨]

高齢化社会を迎え、若々しく健やかに老いたいと考える中高年者は増加の一途を辿っています。皮膚は、幹細胞システムを形成して新陳代謝を行っています。皮膚とその付属器である毛包においても、組織幹細胞(体性幹細胞)の存在が明らかにされ、皮膚の新陳代謝と再生を司り皮膚の恒常性を保っていることが分かってきました。しかし、歳を重ねるとともに、白髪や脱毛に加えて、シミ(老人性色素斑)やシワ、皮膚萎縮などいわゆる自然老化が見られるようになり、紫外線、放射線、創傷、食事、タバコなど様々な環境ストレスに起因する変化も上乗せされていきます。老化は、これまでに多方面から研究されてきましたが、組織がいかんにして様々なストレスに抗しているのか、どのようなプロセスで恒常性のセットポイントが変化し、加齢変化が起こるのか、そこに何らかの普遍的な原理があるのか、まだまだ謎に包まれています。本講演では、皮膚や毛包の幹細胞がその恒常性を保つ仕組みについて解説し、私たちの研究を中心として加齢に伴う組織の変容と破綻の仕組みについて紹介致します。最後に、健康長寿を目指す中高年者のニーズに向けた創薬や化粧品開発の可能性についても触れたいと思います。

[講師略歴]

(学歴・職歴)

1988 年 滋賀医科大学医学部医学科入学
1994 年 京都大学医学部附属病院皮膚科勤務
2000 年 京都大学大学院医学研究科 博士課程、博士(医学)取得
2000 年 ハーバード大学 ダナファーバー癌研究所 博士研究員
2004 年 北海道大学創成科学研究機構 移植医療組織工学プロジェクト特任助教授
2006 年 金沢大学がん研究所 幹細胞医学研究分野 教授
2009 年 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野教授 (至現在)

(受賞)

2003 年	第52回“皆見省吾”記念賞	日本皮膚科学会
2007 年	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	文部科学省
2012 年	日本学術振興会賞	日本学術振興会
2012 年	日本学士院学術奨励賞	日本学士院 など

第270回 学術講演会(開催日:平成27年10月22日)参加申込書

日本化粧品技術者会東京支部 事務局 行
(FAX:03-6431-9126)

参加者 氏名	該当に○ : 正会員、正会員の代理、準会員、シニア会員、相談役・顧問
	代理参加の方は、正会員の方のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL:
	FAX:

◇ 申込方法

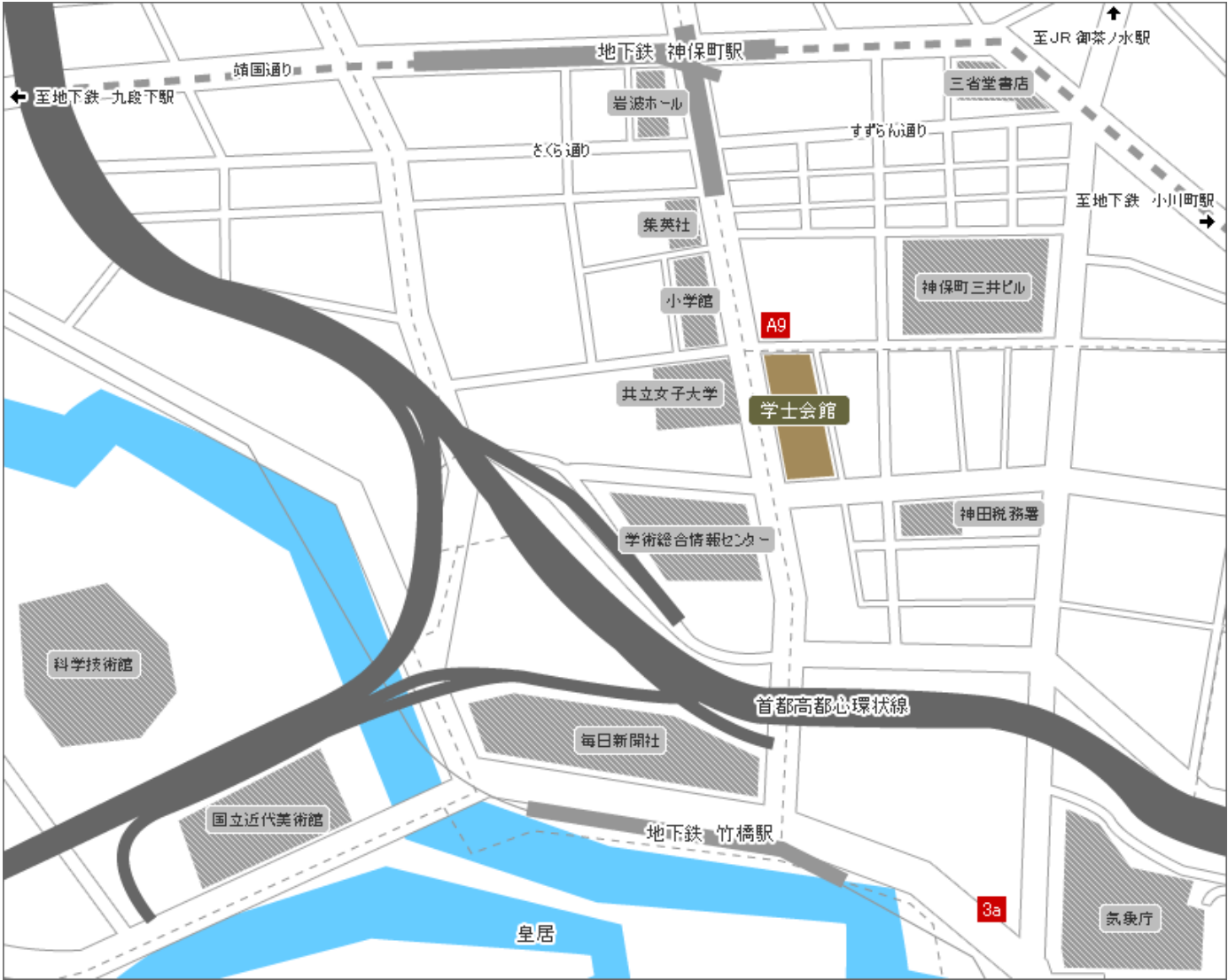
- 本申込書を事務局(03-6431-9126)にFAXして下さい。
(まれに、裏面の会場案内図をFAXされる方がいらっしゃいますのでご注意ください)
- 参加費は無料です。
- 参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡(定員でお断りする場合)がない限り、参加可能です。
- なお、正会員の代理者(1名)の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日:10月15日(木)

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇ お問い合わせ先 日本化粧品技術者会事務局(東京支部)(TEL:03-6431-9196)

◇ 会場(学士会館)略図



学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL.03-3292-5936 (代表)

【交通機関】

地下鉄都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 A9 出口
から徒歩 1 分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 3a 出口から徒歩 5 分

「東京」駅 丸の内北口からタクシーで 10 分